

# 加藤のコラム

第16号（2017年4月）

平成29年度が始まりました。今年度のゆいの取り組みについて表明したいと思います。その取り組みについては、【「地域に戻る」という使命達成のために最前線と最高峰をめざしていくことを中核に、支援力を上げる・組織力を高める・人間力を磨くの3つの視点から強化していく】というスタイルで整理してきていますが、それは平成29年度も変わりありません。



どうして浦ちゃんの写真があるのでしょうか？ 今日はいープリルフルですから、「加藤はこんな顔です」というホラです。大ホラです。許してください。

## 最前線と最高峰をめざして

今年度は「もし新規のグループホームができるとしたら」「もしどこかのグループホームに空き枠ができたとしたら」と、住まいのことや日中活動のプランなどをいろいろシミュレーションしていきます。少なくともまず頭の中で「地域に戻る」ことを現実化していけたらいいなと思っています。また、グループホームの体験利用も継続していきます。

地域貢献については、ゆいにとって何をすることが地域貢献なのかを洗い出す作業を改めてしてみたいと考えています。通所の受け入れ枠を増やせたらという思いから、平成31年度を目標にゆいの近くに新しい生活介護事業所をオープンしたいと願っているのですが、その計画を具体化してみるつもりです。

## 支援力を上げる

個別支援計画の新書式が導入されましたので、今年度はその運用がスタートします。グループホームの計画書式とのマッチングの検討にも入ります。また、外部研修・おがる研修・法人内事業所研修への派遣を計画的に実行して、全員が何らかの研修に参加できるように考えます。もちろん、ゆい塾も年4回開催予定です。

## 組織力を高める

短い時間でいろいろな立場の人間が参加するケースカンファの進行手順を確認して、効率的に話し合いができるための工夫を考えます。各チームのサブリーダーの役割も改めて整理します。

## 人間力を磨く

アートで工賃を還元できることをめざした取り組みは今年度ますます深化することでしょう。そして、今年度は私たちが大事にしたい考え方や振る舞いについて、ゆいバリューとしてまとめたいと考えています。ゆいバリューについては、できしだい世界発信する予定です。